

今週のメニュー

■ [トピックス](#)

◇屋内用 PVC 製レンタル仮囲いがエコマーク認定！

■ [随想](#)

◇生涯現役6 「リスクセンスを鍛える」

日本セキュリティ・マネジメント学会常任理事 大内 功

■ [編集後記](#)

■ トピックス

◇屋内用 PVC 製レンタル仮囲いがエコマーク認定！

エコマークは、ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。この度、再生材を使用した屋内用 PVC 製レンタル仮囲い「パパッと E3 パネル」が日本環境協会よりエコマークの認定を受けました。

エコマークは、日本環境協会によって認定される環境ラベルで、ライフサイクルを考慮した厳しい基準をクリアし、公平な審査を経て認められた商品だけに付けられるマークです。「パパッと E3 パネル」は、再生 PVC が 88%使用されています。また、廃棄時のリサイクルルートが確立されており、製品中プラスチック部分の 70%以上が回収され、回収されたプラスチックの 70%以上がマテリアルリサイクルされるなどの認定要件を満たしています。この商品は、[エコマーク商品類型 No.118「プラスチック製品 Version2.8」](#)に該当します。



製品裏側

内装工事における従来の仮囲い施工では、骨組みとパネルを別々に施工する必要がありました。また、現場の寸法に合わせてカットする際に粉塵、ゴミ、端材が発生し廃棄処分しなければなりません。そこで、建設仮設機材メーカーの(株)三共は、施工時に廃棄物が少なく、軽量かつ耐久性があって使いまわしができる材料として PVC 製パネルに着目し、[屋内用 PVC 製レンタル仮囲い「パパッと E3 パネル」](#)を製品化しました。

この「パパッと E3 パネル」は、フレームと面板が一体になっており、現場状況に合わせて高さ 2100mm～3000mm まで自由に伸縮させることができます。また、内装工事や店舗入れ替え工事の際、「置いて 伸ばして 止めるだけ」の 3 ステップで簡単に施工することができ、大幅な工期短縮につながります。さらには、原則的に部材の切断が不要の



施工事例

ため粉塵・ゴミ等の廃棄物が出にくいエコ仕様になっています。このように取り扱いが簡単になったことで専門業者でなくても効率的に設置・解体ができるようになりました。

2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会では、組織委員会より準備・運営段階の調達プロセスにおける持続可能性に配慮した調達方針が提示されています。「パパッとE3パネル」は仮設施設、イベント会場、会議室などの間仕切りとして幅広く利用されることが期待され、持続可能性に配慮した調達に貢献することができます。

■ 随想

◇生涯現役6 「リスクセンスを鍛える」

日本セキュリティ・マネジメント学会常任理事 大内 功

私は、長年、製造会社で、開発、製造、技術輸出、そして環境・安全の業務を行い、損保会社では、企業、施設のリスクアセス・セーフティアセス、リスク（環境・安全）評価・低減のコンサルタント業務を担当した関係から、常日頃から組織におけるリスク管理、危機管理について、その改善策を研究テーマとしています。

このような中で、「ISO14001を取得し活動しているが、もうやる事が無くなった。ISOには限界があるのではないか」、「OHSMS、OHSASを導入し安全活動に取り組んでいるが、労働災害が減らない。どうしたらよいか」などの情報や相談を受ける機会が多々あります。これは、形式上のマネジメント体制が整っており、PDCAを廻した活動を行っているが、組織として何らかの不調・不備があることを示していると考えています。

不調の内容について掘り下げてみます。「ISO」の場合、特に製造分野以外の事務部門等の場合、省エネ、省資源、ごみ削減の取り組みが一段落し、環境側面、環境リスクが制約され、次の取り組みテーマが見つからないといった悩みから、限界説が出ていると考えています。PDCAのサイクルを廻して、組織の無駄の削減、お客様満足度の向上を目指す活動と理解すれば、取り組むべき側面は沢山あります。基本的に業務改善を目指すことであり、組織の永遠のテーマとなります。

私は、どの組織にも共通して、「時間」の無駄使いを減らすことが、大きな挑戦テーマではないかと考えています。この業務にこの時間を費やして良いのか、もっと短い時間でできないか、また業務そのものを見直し、より有効な仕事をすべきではないかなどの改善策が望まれます。経営者、管理者の視点が、そこに向くことが大切であり、従業員が、文書化、登録とか、あまり役に立たない面倒な業務をしているとの認識があっては、この活動は進展しません。製造関係でも同様で、無駄を無くす、効率化に挑戦する活動であると考えています。

「安全活動」の場合、HH（ヒヤリハット）、KY（危険予知）活動や危険箇所の拾い出し、リスクアセスメントも行っている。教育を含め年間活動計画を立て、PDCAを廻し推進し

ているが、休業災害を含め安全成績は向上していない。経営者から何が悪いのか指摘されるが答えられない。工場の幹部、中間管理職、安全担当は困っている様子が伺い知れます。これらの原因について、個々事例により異なりますが、

- ① 全社方針、部門方針など方針・目標が沢山あり、現場で具体化されていない。
- ② 取り組み項目が多く、重点化、重みづけがされていない。
- ③ 幹部、管理職と一般従業員の認識の差異があり、やらされ感がある。
- ④ 事故・災害の対策が本質を突いていない。
- ⑤ 本質安全を含め、設計思想が受け継がれていない。
- ⑥ 安全第一を掲げているが、生産優先の風潮がある。など幾つかが挙げられます。

特に③、④、⑤が、大きなマイナスとして作用している事例が多いと判断しています。

また、EMS、OHSMS、QMS、RMS、BCMS、ISMS、SR など多くのマネジメントシステム規格があり、そのフォローに追われているケースも見受けられます。これを組織の問題点として捉え、総合マネジメントとして進める組織も増えてきています。

これらの組織の問題点、弱点を簡便に把握し、組織を活性化させる簡便な手段が「LCB式組織の健康診断[®]」であり、公開しています。

この組織診断方法は、多くの過去の事故・トラブルの事例解析から、防護壁モデルを適用し、どの防護歴が劣化したために、その事故が起こったかを解析し、組織に必要な「11の防護壁」を探しあてました。項目のみ示します。①リスク管理、②学習態度、③教育・研修、④モニタリング組織、⑤監査、⑥内部通報制度、⑦コンプライアンス、⑧トップの実践度、⑨危険予知（KY）・ヒヤリハット（HH）、⑩変更管理、⑪コミュニケーション

さらに、この組織の健全性を向上させるため、組織に所属している「個人のリスクセンス」のレベルアップが大切であり、リスクセンスを客観的に評価するシステム、「組織と個人のリスクセンス検定」を行っています。Web方式および紙面による方式があります。

個人の「リスクセンス検定[®]」は、第一線実務者、中間管理者、上級管理者の3階層各カテゴリーに合わせた設問に回答することにより個人自身の「リスクセンス」に関するレベルを把握するもので、設問は知識力を問う設問、リスクへの対応力を問う設問（文章題を含む）計25題で構成されます。

組織の「リスクセンス検定[®]」は「LCB式組織の健康診断[®]」を3階層（一般実務職、中間管理職、上級管理職）それぞれが自らの組織の評価を行うことであり、11分野、それぞれ、組織の実態を示す文言から選択します。その結果、組織の実態、3階層の乖離などが、客観的に把握できます。

好ましくは組織の3階層すべてが同時に「リスクセンス検定[®]」を受診することにより、個人の「リスクセンス」のレベル把握と「組織のリスクセンス」をより正確な診断ができると考えています。

興味をお持ち方は[「リスクセンス検定」](#)、[「リスクセンス研究会」](#) HP を参照願います。

注) 筆者は、リスクセンス研究会 理事

(つづく)

次回は、生涯現役7 「リスクセンスを鍛える」事例を活かす です。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

私の通勤で使っている東京メトロ日比谷線銀座駅の発車メロディが4月から「銀座の恋の物語」に変わり、電車が混雑しているときなど止まっている駅が銀座駅と判り便利になりました。

発車メロディといえば、昔からJR山手線恵比寿駅の「エビスビール」のCM曲、JR京浜東北線蒲田駅の「蒲田行進曲」、りんかい線東京テレポート駅の「踊る大捜査線」のテーマソングは知っていましたが、最近では日本全国で、様々な発車メロディの使用が増えているようです。面白いところでは東京メトロ日比谷線秋葉原駅のAKB48「恋するフォーチュンクッキー」、JR大阪駅のやしきたかじん「やっぱ好きやねん」などがあるそうです。皆さんも最寄りの駅の発車メロディ、気にしてみてくださいのはいかがでしょうか。(鷹山)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 名原 克典

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp